

小田原版STEAM教育継続支援業務に係るプロポーザル 質問及び回答一覧

質疑 No.	該当箇所	質問内容	回答
1	実施要領 4 参加資格要件	コンソーシアム形式での入札参加が可能か教えていただけますと幸いです。現在、弊社との共同入札を検討しております。	コンソーシアム形式での参加は不可とする。 ※企業名等を質問内容から削除
2	実施要領 5 参加申込 (1) 提出資料	「(様式3) 業務実績」の「1 件」カウントは、単年度契約が複数年更新されている場合「1 年＝1 件」か？それとも「3 ヶ年合わせて1 件」か。	業務実績の「1 件」カウントを「1 年＝1 件」とするか「複数年で1 件」とするかは、参加事業者の判断に委ねる。 また、この判断によって参加資格を失うことはない。 ただし、プロポーザル審査会における「業務実績」の評価については、提出された「(様式3) 業務実績確認書」の内容をもとに総合的に判断し採点する。
3	実施要領 7 企画提案書の提出 (1) 提出資料	提案書副本（弊社名やロゴ等を消す書類）に記載する「実績」には、具体的な相手先名（例：〇〇学校に対する探究学習導入）を出してよいのか。（「応募者が特定される表示」とは、具体的にどこまでの範囲か？）	都道府県以下の地名や学校名等の具体的な相手先名は使用しないこと。表示する場合は、一般的な名詞で表現するか、頭文字以外の任意のアルファベット等で表すこと。 ただし、事業規模等を表すために人口や学校数、生徒数等の数字を表示することは可能とする。 【表示方法の例】 [地名等] × 神奈川県小田原市 ○ 神奈川県A市（人口 約18万人） [学校名等] × 小田原市立尊徳中学校 ○ 神奈川県A市の公立中学校（生徒数 約400人）
4	実施要領 8 審査の方法 (2) プレゼンテーション審査会	プレゼンテーション審査会（令和7年12月22日(月)開催予定）における参加事業者側の出席者上限は何名か。	会場の都合上3人を想定しているが、5人以内であれば対応可能。

5	<p>実施要領</p> <p>8 審査の方法</p> <p>(2) プレゼンテーション審査会</p>	<p>プレゼンテーション審査会（令和7年12月22日(月)開催予定）において、参加事業者として提案内容に係る実績を説明する際に、具体的な名称（例：（自治体名）の導入支援業務）を用いてよいか。</p>	<p>質疑No.3の回答のとおり。</p>
6	<p>仕様書</p> <p>5 業務の一括再委託の禁止</p>	<p>「受注者は、本業務を一括して第三者に委託し、または請け負わせることはできない。ただし、本業務を効率的に行う上で、必要と思われる業務については、発注者の承認を得た上で本業務の一部を再委託することができる。」のようですが、どのような状況において再委託が可能かを教えてくださいと幸いです。又、その場合、事前にどのようなプロセスで検討や承認をお願いすることが可能でしょうか。</p>	<p>具体的な状況については例示しない。</p> <p>契約の締結にあたって、交渉権者となった事業者が提案し、その内容に基づいて発注者が検討し、判断する。</p>